

湯浅伝建地区保存協議会ホームページ リニューアルしました



各種ホームページ

甚風呂【銭湯跡歴史資料館】公式HP 甚風呂とは お知らせ 本館の展示 別館の展示 運営と保存 活動報告 来館案内



甚風呂【銭湯跡歴史資料館】公式ホームページ



湯浅伝建地区保存協議会と甚風呂のホームページをスマートフォンでも見やすく、分かりやすくリニューアルしました。

保存協議会のホームページには、歴史シリーズのページもありますので、ご覧ください。

■令和 7 年 9 月 13 日【最新:まちなみ瓦版デジタル 与謝野町加悦地区研修報告】

デジタル版:まちなみ瓦版与謝野町加悦地区研修報告はこちら

(新しいウィンドウで開きます)

■令和 7 年 9 月 1 日【まちなみ瓦版 75 号】を発行しました。

まちなみ瓦版 第75号はこちらからご覧いただけます

(PDFファイルが新しいウィンドウで開きます)

日々の情報はHPの最後にリンクしているFacebookやInstagramをご覧ください。休館日などは、随時こちらで更新いたします。

与謝野町研修報告デジタル版や過去の瓦版も閲覧できます

伝統的建造物表示プレート随時配布しています

本プレートは、地区内の伝統的建造物（保存物件）を明示するためのプレートとなっており、「地区住民の皆さんが伝統的建造物を一目みて分かるようにする」、「後世に伝統的建造物を伝える」ためのものです。

このプレートの配布は、平成31年3月に説明会を行い配布していましたが、伝統的建造物に特定されている物件を所有されている方で、まだプレートを受け取られていない方は、湯浅町教育委員会 歴史文化財係
TEL: 64-1128 までお問合せください。

湯浅伝統的建造物群保存地区



伝統的建造物

この建造物は伝統的建造物として保存する重要な建物です。

湯浅町・湯浅町教育委員会

サイズ: 縦8cm 横12cm

湯浅伝建地区保存協議会

皆様に瓦版をより身近に感じてもらうために、まちなみ瓦版の記事を募集しています！ご意見・ご要望などございましたら、会長まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.denken-yuasa.sakura.ne.jp/yuasa/>

各種ホームページ

まちなみ瓦版

報告

令和7年度 湯浅保存協議会視察研修 in 京都府与謝野町加悦地区

9月7日(日)、与謝野町加悦地区を14名で訪ねました。

今年で重伝建選定20周年を迎える加悦のまちは、歴史と文化をそのまま抱きしめているような場所。町職員の清原さん、「ちりめん街道を守り育てる会」の佐々木会長・副会長ほか多くの方々に温かく迎えていただき、町歩きとディスカッションの機会をいただきました。

最初に足を踏み入れた旧役場庁舎は、耐震改修を経て観光協会の拠点に変身。2階の議場がホールとして活用されている姿は、「古いものを活かしながら新しい息吹を吹き込む」まちの姿勢を象徴していました。

天神橋を渡ると「ちりめん街道」へ。広い道幅と、明治・大正の家屋がずらりと残る景色に驚かされました。瓦の模様、漆喰や土壁仕上げ、立派な土蔵…どれも当時の製織業の繁栄を物語っています。

旧尾藤家では、和洋折衷の豪壮な邸宅を巡りながらディスカッション。アンティーク家具に心を奪われる人、奥座敷の静けさに癒やされる人、それぞれが感じるままに歴史と向き合いました。町並みの運営についても意見を交わし、加悦地区が持つ余裕と落ち着きに深い学びを得ました。

湯浅と加悦。似ている点も多く、異なる点も多い。けれど共通して言えるのは、「まちを大切に思う人々がいる」こと。美しく整備された町並みや体験型の取り組みには、これから私たちが学ぶべきことがたくさんありました。

湯浅伝建地区保存協議会 会長 藪野博孝

■令和 7 年 11 月 1 日

■第 76 号

■発行: 湯浅伝建地区保存協議会

■発行責任者: 藪野 博孝



旧加悦町役場庁舎



ちりめん街道



旧尾藤家住宅

保存協議会視察研修参加者の感想



（湯浅伝建地区保存協議会 副会長 土岐）

加悦地区ちりめん街道は私の記憶に強く残る素敵なまちなみでした。そこで感じたのが名家の多さと落ち着いた雰囲気。湯浅伝建地区とはまた違った品のあるまちなみでした。現存するちりめん工場の稼働風景が見れなかったのが少し残念でしたが。そして最後の国指定文化財 旧尾藤家住宅でのディスカッション。お互い20年違った歩み方をしてきたのを知りいい刺激になりました。今回の時間ではまわりきれなかったのもまた個人的に他のところも見たい！そう思える有意義な研修でした。

（湯浅伝建地区保存協議会 会員 見矢）

保存地区の方々と協議をした中で最も驚いたのは、「ちりめん街道を守り育てる会」の会員数が180名だということ。さらに、会員から1,000円の会費を徴収しているとの説明を受けて湯浅との違いに愕然としました。湯浅の保存会の方は高齢化が進行し、年々会員数が減少していく現状にあることから、加悦地区の取り込みに学ぶべきことが多かったのではないかと思います。また、地域イベントについて湯浅の現状では、保存会独自でイベントを主催することができないので、他の団体とどのように関わりを持っていくべきなのか？また、そのような事は必要なのか？等々を検討することも必要なのではないかと考えます。「守ることから攻めること」へ今回の研修会に参加して改めて感じたことは、研修で学んだことをいかに活かしていくのか？を考える事が大切ではないかと思います。そのためには、研修後に参加者が再度参集し話し合う機会を持つことが大切なのではないかと思います。

（湯浅伝建地区保存協議会 会員 上野山）

与謝野町加悦地区ちりめん街道を訪れて。この町はちりめん関連のりっぱな住居、施設を美観的に上手に修理をしている。又会員数180名、年会費1,000円と話を聞き湯浅町とは少し雰囲気が違う様に思われる。

（湯浅伝建地区保存協議会 会員 藪野）

佐々木会長の案内で町並みを歩いて気づいた事は道路がとても広くて消火器も景観にマッチするように工夫し設置されていました。何より道路にはみ出して自家用車を置いている家が無く住民の皆さんが景観にすごく配慮されてる事が一目瞭然でした。歩いていると自然と時間がゆったり流れる気持ちになりました。

（甚風呂スタッフの意見まとめ）

スタッフの立場から、旧尾藤家住宅の中を案内していただきながらお話を聞くことができました。清掃については広い場所であるので日々場所を変えて甚風呂と同じように分担しているとのこと。入館者数の把握は入館料で確認、入館の時どこから来たのか聞くとのことでした。防災訓練は年1回実施しているとのこと。接遇については広い空間で二人での対応は甚風呂のようにはいけないと思いました。いろいろみせていただいたなかで、私たちスタッフとしては、今までとおりの家庭的な雰囲気と親しみやすさと細やかな接遇を心がけていきたいと思います。防災訓練もお客様対応をどうするか、避難訓練の確認とお客様の誘導をどうするか検討していきたいと思います。



令和6年度保存修理事業の報告

令和6年度は、3件の保存修理事業が実施されました。工事内容を紹介しますので、建物の改修などを検討されている方は、参考にしてください。

戸津井家住宅主屋修理工事（その2）（北町）



2カ年の事業で、令和5年度は、野地板などの修理や、屋根瓦の葺き替えを行い、令和6年度は、外壁の仕上げ工事などを行いました。壁に残る痕跡や、建築当初の図面から2階の手摺のデザインを復原しました。

上野家住宅主屋修理工事（その2）（北町）



2カ年の事業で、令和5年度は、玄関まわりを復原や、屋根瓦の葺きなおし（古瓦再用）、格子や建具を新調しました。令和6年度は、外壁の漆喰仕上げや、古瓦を再用して庇の瓦を葺き替えました。

旧石川家住宅主屋及び付属屋修理工事（その1）（北鍛冶町）



3カ年の事業で、令和6年度は、解体工事や家起こし、シロアリの被害で傷んだ柱や梁などの構造部材を取り替えました。降ろした瓦や壁土は古いものを再用する予定で、種類ごとに分類して保管しています。